



2024年7月31日

大阪市高速電気軌道株式会社

日揮ホールディングス株式会社

株式会社レポインターナショナル

合同会社 SAFFAIRE SKY ENERGY

Osaka Metro が廃食用油を国産 SAF に再利用する取組みを開始

～脱炭素社会の実現を目指し、SAF で航空機が飛ぶ世界を実現するプロジェクト

「Fry to Fly Project」に参画～

大阪市高速電気軌道株式会社（代表取締役社長：河井英明、以下「Osaka Metro」という）と日揮ホールディングス株式会社（代表取締役会長 CEO：佐藤雅之、以下「日揮 HD」という）、株式会社レポインターナショナル（代表取締役 CEO：越川哲也、以下「レポインターナショナル」という）、並びに合同会社 SAFFAIRE SKY ENERGY（代表：秋鹿正敬、以下「SAFFAIRE SKY ENERGY」という）の4社は、Osaka Metro 直営のレストラン等から出る使用済み食用油（以下「廃食用油」という）を国産の持続可能な航空燃料 SAF（Sustainable Aviation Fuel（以下、「SAF」という）製造の原料に供給することで二酸化炭素（以下、「CO₂」という）排出量を削減し、脱炭素社会の実現に向けて相互に協力する基本合意書を、7月30日（火曜日）付で締結しました。

また、Osaka Metro は、SAF で航空機が飛ぶ世界を実現するプロジェクト「Fry to Fly Project」に参画し、駅構内デジタルサイネージ等の自社所有媒体を通じて、SAF の重要性や国内資源循環、Fry to Fly Project に関する発信を行うなど、この取組みの輪を広げていきます。



御堂筋線 30000 系車両



直営レストラン「Orchid time by Osaka Metro」

今回の基本合意書に基づき、Osaka Metro は直営レストラン「Orchid time(オーキッド タイム) by Osaka Metro」から排出される廃食用油を、国産 SAF 製造の原料として供給します。また今後の飲食事業の展開に応じて、段階的に供給規模を拡大していく予定です。

Osaka Metro は、これまで駅構内や車内照明の LED 化による電力使用量の低減や、回収した古紙から再生紙を生産することで紙の使用量の削減、脱炭素エキデン 365 に参画し社員の行動変容を促すなど資源循環型社会の実現に取り組んできました。

Osaka Metro、日揮 HD、レボインターナショナル、SAFFAIRE SKY ENERGY の 4 社は、基本合意書や Fry to Fly Project を通じて業界の垣根を越えて連携し、脱炭素社会の実現を目指します。

【各社の役割】

Osaka Metro	レストラン等から排出される廃食用油を SAF の原材料として提供、今後の飲食事業の展開に応じて段階的に供給規模を拡大していく予定です。 また、駅構内デジタルサイネージ等の自社所有媒体を通じて、SAF の重要性や国内資源循環、Fry to Fly Project に関する発信を行います。
日揮 HD	廃食用油を原料とする SAF 製造事業（コスモ石油株式会社、レボインターナショナルとの共同事業）に関するサプライチェーンの全体構築を主導します。
レボインターナショナル	Osaka Metro の事業活動で生じた廃食用油を資源として収集し、SAFFAIRE SKY ENERGY に引渡すとともに、Osaka Metro から買い受けた廃食用油の引取り量と SAFFAIRE SKY ENERGY への引渡し量など収集状況を管理することで、廃食用油のトレーサビリティを明らかにします。
SAFFAIRE SKY ENERGY	大阪府堺市で建設中の日本初となる国産 SAF の大規模製造プラントにおいて、レボインターナショナルから引き取った廃食用油を原料として SAF の製造を行います。

【SAF とは】

SAF とは、廃食用油や植物・動物油脂、木質バイオマスなど、化石燃料以外を原料とする「持続可能な航空燃料」のことで、従来の原油からつくる燃料と比べて CO₂ の排出量を大幅に削減することができます。原料が 100% 廃食用油の場合、原料収集から SAF の製造・航空機での燃焼までの全体で、従来の航空燃料と比較して CO₂ 排出量を約 80%削減することができます。

【国産初の SAF 大規模生産事業の概要】

日揮 HD、レボインターナショナルは、コスモ石油株式会社と共同で国内での廃食用油の収集から SAF の製造・輸送・供給に至るまでのサプライチェーン構築に向けて事業化検討を進め、2022 年に新会社 SAFFAIRE SKY ENERGY を設立し、国内で発生する廃食用油のみを原料とした年間約 3 万キロリットルの SAF の供給を目指しています。なお、本事業は国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）より採択※を受けた助成事業です。

※NEDO ホームページ：https://www.nedo.go.jp/koubo/FF3_100312.html

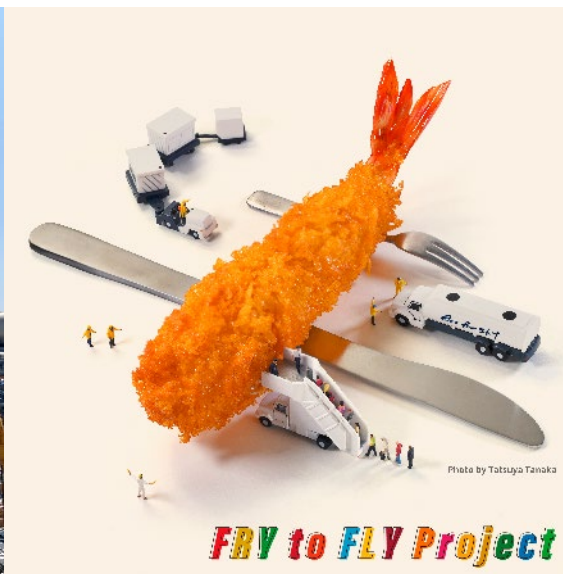
【Fry to Fly Project とは】

Fry to Fly Project は家庭や店舗などで発生する廃食用油という国内資源を原料とする SAF で、航空機が飛ぶ世界を実現するプロジェクトです。

プロジェクトは日揮 HD が発起人となって設立し、設立主旨に賛同する企業・自治体・団体が、家庭や飲食店など身近なところで発生する廃食用油の提供を通じて、日本国内における資源循環の促進に直接参加しています。



建設中の SAF 製造プラント



Fry to Fly Project のシンボル

【本件に関するお問い合わせ先】

大阪市高速電気軌道株式会社（Osaka Metro）

広報戦略部 広報戦略課

TEL：06-6585-6112

日揮ホールディングス株式会社

戦略企画オフィス 経営企画ユニット 広報グループ：伊達、川島

TEL：045-682-8026

株式会社レボインターナショナル

運営管理部 広報

TEL：075-353-2277

同時資料提供先：青灯クラブ、近畿電鉄記者クラブ